

2022年9月30日

各位

株式会社 埼玉りそな銀行
株式会社 りそな銀行

大栄不動産株式会社へのシンジケーション方式による サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

りそなグループの埼玉りそな銀行(社長 福岡 聡)、りそな銀行(社長 岩永 省一)は、本日、お客さまとともに持続可能な社会を目指す取り組みの一環として、大栄不動産株式会社(代表取締役社長 石村 等)と、シンジケーション方式の「サステナビリティ・リンク・ローン」(以下「SLL」)契約を締結しました。

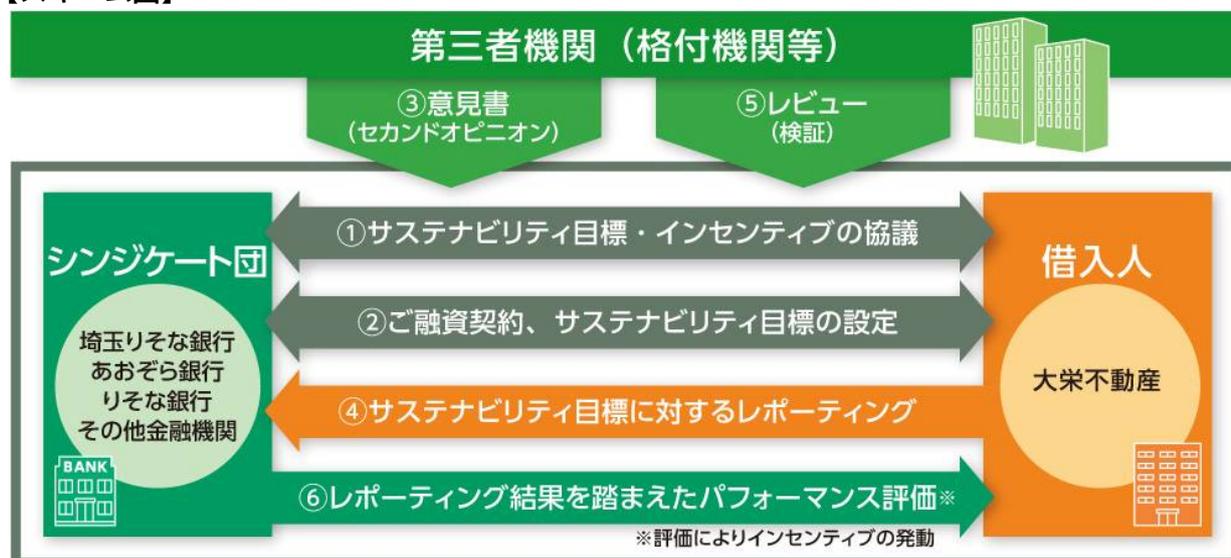
SLLとは、環境・社会・経済に対するお客さまの「サステナビリティ戦略」と、それに整合した目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット 以下「SPTS」)を定め、達成状況に応じて金利等の融資条件が連動する借入手法です。

▶ 様々な金融機関と連携して、お客さまのCO₂削減を後押しします

大栄不動産は、ビル賃貸事業、駐車場事業、住宅事業、不動産営業事業、有料老人ホーム事業を主たる業務とする総合不動産業を営んでいます。同社は気候変動への対策を重要課題(マテリアリティ)と認識して脱炭素社会の実現を目指しており、今回は「2030年度までにCO₂排出量(原単位ベース)を30%削減(2013年度比)」をSPTSとして設定しました。

また、株式会社日本格付研究所よりSPTSの合理性等について第三者意見書を取得しております。

【スキーム図】



【サステナビリティ・リンク・ローンの概要】

契約締結日	2022年9月30日
借入金額	70億円
借入期間	9年6ヶ月
資金使途	長期事業資金
アレンジャー兼貸付人	埼玉りそな銀行、あおぞら銀行
貸付人	りそな銀行、その他金融機関
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所(JCR)

以上